

24

「金のおの」その後

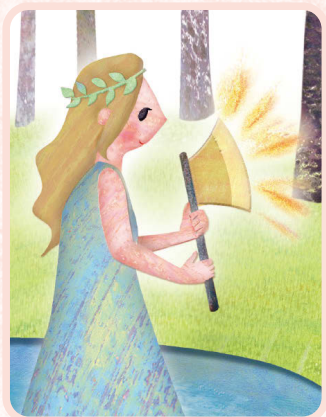
沼^{ぬま}におのを落^おとした木^きこりが、沼^{ぬま}から現^{あらわ}れた女神^{めがみさま}様に金^{きん}のおの^{おの}と銀^{ぎん}のおのをもらいます。この話^{はなし}を聞^きいた仲間^{なかま}の木^きこりはわざと自分^{じぶん}のおのを沼^{ぬま}に投^なげ込^こみ、金^{きん}のおのを自分^{じぶん}のものだとうそをついて、自分^{じぶん}のおのも失^{うしな}います。三人^{さんにん}めの木^きこりはわざと自分^{じぶん}のおのを沼^{ぬま}に投^なげ込^こみ、金^{きん}のおのがほしいと言^いいます。



ひとりめの木こり



ふたりめの木こり

めがみさま
女神様

さんにんめの木こり